

ヒメボタルの里 サポータークラブ

農業公園で、33匹の幼虫を確認

～ヒメボタルが乱舞する風景を取り戻そう～

農業公園でトラップに33匹の幼虫が♪♪

親子連れを中心に40人を超える人が集まり、竹林の中などに設置した350個のトラップを回収しました。パレットに広げて中を確認します。ゴミムシ・ムカデ・ヤスデなどが出てきますが、ヒメボタルの幼虫も見つかりました。次々と、「幼虫がいるよ!」という声が上がります。



調査期間中に雨が降り気温の高い日があったことが条件として良かったのではないかと考えられますが、33匹ものヒメボタルの幼虫が見つかったのは予想を大きく超える成果です(昨年一昨年は0匹でした)。場所を確認すると、竹林の周辺の低木や草の生えている所のトラップに多くかかっています。「森があり、その周辺に草地があることが生息地として重要」と一般的には言われてきましたが、そのことが立証されたようです。

今回の調査結果を基にしながら、尼崎市とも協議をおこない今後の生息地保全活動に取り組んでいきたいと思ひます。

捕まえた幼虫は、来年の5月に素敵な光を輝かせてくれることをねがいながら、もといた場所に返しました。



冬のヒメボタル観賞会

～ ヒメボタルの幼虫の光をさがそう♪♪ ～

12月29日(水) 19時集合 (～20時終了予定)

◎ 猪名川公園北側 猪名川堤防

◎ 参加無料

◎ 持ち物：軍手、懐中電灯、(長靴、暖かい服装)



ヒメボタルは、幼虫の時も光を出します。各地で「冬の蛍鑑賞会」として幼虫の発光観察会がおこなわれています。サポーターからの希望もあり、5月に多くの光が見られる猪名川河川敷で実施することになりました。サポーターのみなさんの参加をお待ちしています。

[主催] 自然と文化の森協会&猪名川キッズクラブ
ヒメボタルの里サポータークラブ

サポータークラブ登録 ありがとうございます

ヒメボタルの生息環境の保全に向けて、国土交通省や尼崎市と協働で「①猪名川河川敷のゴミ拾い(2/19 猪名川クリーン作戦)。②猪名川河川敷の樹木間伐(2/27 低木管理)。③農業公園竹林の整備(3/20 竹囲いの設置)」などの取り組みを進めていきます。

みんなの力を合わせて、市民参加でヒメボタルが生息できる環境を保全・再生し、田能のお姫様：ヒメボタルが乱舞する風景を尼崎に取り戻しましょう。



ヒメボタルの里サポータークラブ代表 弘川よしえ

ヒメボタルが好きな人。ヒメボタルを守りたいと思う人。自然が好きな人。みんな集まれ！！

ヒメボタルの里サポータークラブ 募集！！

登録費：1家族200円。 オリジナル缶バッジ2個プレゼント。

福本 hukumo08@bca.bai.ne.jp まで「ヒメボタルサポーター登録」とメールを送付下さい。

